

# 小布施温泉 穴観音の湯

Obuse Onsen Anakannonnoyu  
(長野県小布施町)



今回紹介するのは小布施温泉の穴観音の湯である。観音様のお告げにより湧き出したのがこの穴観音の湯。一方、穴観音の湯の隣にはすでに銭湯愛好会で紹介しているあけびの湯がある。どちらに入るべきか、悩ましいのがうれしい。

さて、ウィキペディアによれば、穴観音とは、観音菩薩像の通称だとか。観音菩薩とは「観世音菩薩」の略で、人々の苦しみを除いたり願いごとを聞いてくれる慈悲深い仏のことらしい。

その屋号の通り、穴観音の湯の敷地内には観音様があり、お参りをすることも可能だ。

しかし、何はともあれ、温泉取材である。

駐車場は広く、キャンピングカーの駐車も2台まで可能。そして、駐車場からは塔のような建物にあるエレベーターで館内へ。建物は下から見上げなければならないほど高い場所にある。

脱衣室に入る。脱衣室には100円硬貨が必要なロッカーが50個ある。使用后100円硬貨は返却される。他に、脱いだものを入れる棚が15個、籠が20個程度、洗面台5個、ドライヤー2個がある。脱衣室の内装は木がふんだんに使われており、落ち着いた雰囲気だ。

浴室に入る。洗い場は12か所ある。うち8か所は変わったレイアウトで、互いに向き合うようなスタイルだ。それぞれの洗い場は少々狭いような気がする。シャンプーとボディーソープは完備している。

内湯の浴槽は白濁した湯で、ジャグジーになっている。マッサージ流もある。湯温は適温だ。定員は8人くらいだろうか。一方、同じ源泉の露天風呂は無色透明。空気に触れる時間によって、湯の色が変わる

のが理由だという。露天風呂は岩風呂になっており、定員は 20 人程度。寝風呂もある。湯温はややぬるめ。外には果樹園が広がる。

サウナは蒸気式。定員は 4 人。激しく蒸気が出る音がするが、どこから蒸気が出てくるのかよくわからない。眼鏡が曇ってしまい、何も見えなくなったので、サウナを出る。室内温度は温度計がないので不明だが、かなり高温であったと思う。水風呂はない。

入浴後はロビーでくつろげる。高級なマッサージ椅子が 2 つあり、利用料は 300 円とある。整体もある。温泉で十分に体が楽になったので、マッサージ椅子や整体は要らないように思う。これらが必要な人は、相当な重症だろう。それこそ観音様にお参りするべきだ。観音様が苦しみを取り除いてくれる。取材班は結局観音様にお参りはしなかった。

周囲には隣のあけびの湯との温泉協奏曲が響き渡っていた。この地には温泉が多く湧き出ている、温泉好きが多いということだ。小布施にはうまいものも多い。栗、くるみ、リンゴ、羊羹、蕎麦。侮れないエリアである。

DATA

名称	小布施温泉 穴観音の湯
所在地	長野県上高井郡小布施町雁田 1194 番地
電話	026-247-2525
営業時間	10:00~22:00
定休日	無休
入浴料	大人（中学生以上）600 円、小学生 300 円、未就学児無料
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
泉質	硫黄泉
効能	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、ねん挫などの慢性期）、運動麻痺による筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、胃にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、皮膚乾燥症、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症
取材日	2022 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	志賀高原